一頭の乳牛が子どもの未来を創る India

今インドは大きな経済発展の中にあるものの、貧富の差は大きく、貧困家庭はその貧しさからなかなか抜け出すことができません。
貧しい家庭では子どもにまともな教育を受けさせることができず、貧困家庭の子どもたちは将来新たな家庭を築いてもやはり貧困のままという、いわゆる貧困の連鎖が続いています。
インドでは児童労働が大きな社会問題となっていて、現在 6,000 万人の子どもたちが学校に通うことができず、日々労働に従事させられていると言われています。
この貧困の連鎖を断ち切るためには、子どもたちに教育の機会を与えてあげることが何より必要です。

今年(2019 年春)ご縁をいただいた SSH(Society For Serving Humanity)という団体は、貧困家庭の生活支援、HIVの子どもたちや家庭の救済、女性の自立支援などを行っていて、その活動の中で、地元ロータリークラブなどの協力を得て、貧困家庭に乳牛一頭を贈る運動を進めています。
乳牛からは毎日10～15リットルの牛乳が採れ、その収益金で、一人の子どもがインドの義務教育期間である十年間学校に通うことができます。
乳牛は一頭 40,000 ルピー、日本円で約 64,000 円ほどです。

『一頭の乳牛が一人の子どもに教育機会を与え、その子の一生を変えることができます』

そこで日本からも義援金をSSHに送り、貧困家庭に乳牛を贈る援助をしたいと考えています。
金額はいくらでも結構です。
未来ある子どもたちのため、どうか皆様方のお力添えをいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

南インドの子どもたちを支援する会

〒 734-0007　広島市南区皆実町 5-2-11-104
酒井伸雄　TEL 090-8363-6678
郵便振替口座　01300-2-46690
https://yogananda.cc　minnaminoru@gmail.com

ヨガナンダHP